

委員会報告

福祉建設委員会報告



なぎチャイルドホーム

安心して子育てできる環境整備を

令和7年2月4日

岡山県勝田郡奈義町視察

岡山県奈義町は、2002年に合併を選ばず、少子化対策として「精神的支援」「経済的支援」「地域ぐるみの子育て支援」の3本柱を推進しています。2012年に「子育て応援宣言」を行い、妊娠・出産期のメンタルケアに重点を置き、心理士による相談や地域ボランティアによる新生児訪問を実施しています。これにより、親の孤立感の軽減に努めています。

視察した「なぎチャイルドホーム」では、就学前の子育て支援、小学生の居場所、不登校児支援、地域交流の場として多機能的に運営されています。また、在宅育児世帯には月額15000円の支給があり、経済的支援も充実しています。

これらの施策により、奈義町では2019年に合計特殊出生率2.95(全国平均1.36)を記録し、多子世帯が半数以上を占める成果を上げています。これは、安心して子育てできる環境整備の結果といえます。

豊山町でも、心理士や助産師による相談体制、新生児家庭訪問支援の強化、児童館の機能強化、地域ぐるみの子育て支援の推進が重要だと考えます。

要望書の提出

令和7年3月18日

豊山町と名古屋市が共同管理する久田良木川排水機場で、設計誤りによる不具合が発生し、修補工事を実施することとなりました。このため、工期が延長され、稼働が令和12年度末に遅れることとなりました。委員会での議論に基づき、設計業務における照査報告義務化や確認体制強化、住民への情報提供の2項目を要望。

令和7年3月18日

奈義町視察後の議員間討議に基づき、精神的なサポートの強化など3項目を要望。

